

# THE ROTARY CLUB OF NAGOYA WAGO 名古屋和合 WEEKLY 2760 地区 REPORT

ENGAGE ROTARY CHANGE LIVES

ロータリーを実践しみんなに豊かな人生を

2013-2014年度 国際ロータリー会長 ロンD.バートン



2013-2014年度 会長 鶩塚貞長 幹事 服部 滋 クラブ会報委員長 佐藤公俊

創立/1972年3月15日 例会日/水曜日 12:30~13:30

例会場/ウェスティングナゴヤキャッスル 名古屋市西区樋の口町3-19 〒451-8551

TEL 052-523-1998 FAX 052-531-0727

## 2014 March 5

■ 2013~2014年度方針

“原点に戻り 品格あるアドバンス”

Return to basics Advance with intelligence

## NO.32

### 例会報告

●第2028回例会 平成26年3月5日(水) 雨

●3月は識字率向上月間

●君が代

●ロータリーソング 奉仕の理想

●出席報告 会員 106名中 (100) 出席69名

出席率69.00% 修正出席率84.54%  
(2月19日分)

●ゲスト紹介

- ・ゲストスピーカー  
中日ドラゴンズ前二軍監督 鈴木 孝政氏
- ・国際奉仕委員会ゲスト  
カンボジアの健康及び教育と地域を支援する会  
田口 嘉孝氏

●ニコボックス

「本日はカンボジア簡易水道事業でお世話になっているNPO法人「カンボジアの健康及び教育と地域を支援する会(SCHEC シェック)」の田口さんをお招きしています。よろしくお願いします。」 福田哲三君

「75年間1度も入院も手術もしたことが無かった私が、2月3日、重症虫垂炎に併発した腹膜炎で入院し、2回の全身麻酔による緊急手術を受け、1ヶ月間入院し、5~6kg痩せて戻ってまいりました。」 松原忠久君

「2月23日犬山マラソン連続36回完走し、翌日ヨーロッパへ出張、帰りにパリで須賀さんの息子さんがチーフシェフを務めるジエルルロブションでおいしい食事をしてきました。」 谷 喜久郎君

「次男に初孫が生まれました。星ヶ丘マタニティ病院でお世話になりました。近藤先生ありがとうございました。」 片桐寛治君

本日のニコボックス	4件	22,000円
累計	174件	1,691,000円

### 亀井敏勝副幹事報告

▽当クラブ行事予定

- ・3月12日(水) 42周年記念例会です。  
卓話が1時間ございますので、終了は14時を予定しております。
- ・3月19日(水) 3月26日(水)が規定休日のため、例会終了後、理事会を行います。
- ・3月26日(水) 規定休日のため休会です。
- ・4月2日(水) お花見夜間例会、18時~。  
場所はウェスティングナゴヤキャッスルです。
- ・4月7日(月) お昼の例会はございません。  
※本日、ご案内を配布しております。
- 6RC合同例会です。  
名古屋東RCホストのため、4月9日(水)を変更して、4月7日(月)に開催致します。
- 場所はウェスティングナゴヤキャッスルです。
- 時間は12時30分~13時30分予定。
- 4月9日(水)のお昼の例会はございません。

※行事予定では、5月28日(水)が春の家族会になっておりますが、5月21日(水)を変更し、5月17日(土)に家族会を開催致します。5月28日(水)は通常例会になります。

### 鶩塚貞長会長挨拶

“CA19-9 “騒動記” ”

人生それなりの歳に達すると、夜中に小用に起きざるを得ない、実に忌々しい状況が生じ、泌尿器以外の機能でも、長年酷使してきた部位なので、簡易ドックと前立腺の画像診断を受けることにしました。

前立腺は風雪に耐え、きわめて健全、その他の主要臓器の検査値もすべて正常、しかしながら、頼みもしなかった検査項目の、腫瘍マーカーCA19-9が、正常値の10倍を超えていると、専門病院の受診を勧められたのです。

20年も前から胆石があることは解っていたが、サイレントなので放置していたこともあり、胆石による、胆囊壁への長年にわたる物理的刺激による、病変の可能性も考えられるので、胆囊あたりの精査として、MR I、エコー、内視鏡による十二指腸エコー、さらには、胆管より胆汁採取の細胞診などを行ったが、有意な所見は見つかりませんでした。

それではと、PETを行ったところ、肝臓に大きな反応が認められ、常識的に疑われるには、胆囊癌の肝転移。

外科部長は、「こんな状況では切れません」。内科部長は、「抗癌剤で叩いて、病巣を縮小してオペ」との意見でした。

定期的に主要臓器の検査を行っていましたが常に正常、今回のPET前の検査値でも全て正常。「肝臓に、こんな大きな病変があるとすれば、肝細胞の破壊は必ず伴うはず、しかしながら肝細胞破壊時には必ず上昇する肝酵素が、検査入院前も入院後も全く正常であることは、PET所見と合わない」「もう一度、エコー等の画像で、再検査をお願いしたい」

獣医学の腫瘍学・専門医の長男を立ち会わせ、可能な限りの再度検査するが、PETに反応した部位に病巣は見当たらない。

私も日常の診療でエコーは汎用するが、肝臓はエコー検査で、一番所見の取りやすい部位、病巣があれば、必ず何らかの所見が得られはずで、ましてや、あれだけ大きくクリアーナ PETでの反応部位に、何の所見もないのはおかしな話です。

「直視下ほど確かなものはない」「この際、内視鏡などでゴチャゴチャかき回さず、腹かっさばいで十分に精査、ついでに何の症状もないが、胆石入りの胆囊を切除願いたい」

かくして縦・横20cm L型の、古式に乗っ取った切腹まがいのオペを受けました。

肝臓には“何の病変もなく”、胆石を長年保有していて胆囊の壁面が肥厚していただけで、その他に有意な所見は有りませんでした。

オペ前まで、400, 600, 1000と、経時的に上昇していたCA19-9は、オペ後一挙に正常化したのです。

いったい何が原因の、腺癌マーカーCA19-9の高値上昇だったのか。あんな大きく、鮮やかな緑に輝いていた肝臓のPET所見は、いったい何だったのか。

多くのミステリーに包まれた、私のCA19-9騒動は今日、いまだに明快な答えが得られていないのです。

病巣が特定されないままに、マーカーの数値だけを根拠に、抗癌剤などをスタートさせ、その値に一喜一憂している多くの事例を見るにつけて、私はセカンド、あるいはサードオピニオンの必要性を痛感する今日です。

## 卓 話

### 若竜を育てて

中日ドラゴンズ前二軍監督 鈴木 孝政

#### プロフィール

昭和29年生・千葉県出身。昭和48年ドラフト1位で入団。昭和50、51、52年、3年連続セーブ王。肘痛に苦しむも昭和59年、16勝8敗でカムバック賞。通算登板586試合。124勝94敗96セーブ。現東海テレビ解説者。



2年間ドラゴンズ二軍監督として若手の育成につとめました。今年還暦を迎えたので、若い二軍選手達とは、40才近い年齢差があります。最近多発する若い人の犯罪をみる度に、若い人とのジェネレーションギャップを感じます。

一つは、コミュニケーション不足です。暇があればスマホと向き合い、「下ばかり」向いています。会話をしたがりません。もう一つは、自分で考えて行動することが得意なようです。言われたことは忠実に練習していますが、工夫がありません。一般常識やエチケットにも欠けています。監督として、これくらいのことは出来るだろと期待しても裏切れられます。10求めたいところを6くらいに下げて、ささいなことを一から時間をかけて注意して教えねばなりません。言葉も知りません。「許婚者」「片鱗」と言っても、通じません。楽なところで樂をして上達しようと思っているうちは、真剣勝負の戦いの場は、乗り切れません。苦しいところで苦しんだ末に、本当の樂しさが来るということを教えて来たつもりです。

若者を育てることは、我慢のいる、時間のかかる仕事です。何年か先に何人かの選手が育ってくれると信じています。高橋周平・濱田達郎らの大物新人の成長ぶりや、ベテラン岩田・朝倉両投手のふんぱりなど、温かく見守ってやってください。

(文責：富島)

例会	月日	今後の予定
第2029回	3.12	歴史家 加来耕三氏 「歴史を動かした二つの会議 —清洲会議と小山評定—」
第2030回	3.19	新入会員 自己紹介 加藤智弘君 長澤功雄君 高田朋太郎君
	3.26	規定休日の為休会
第2031回	4.2	お花見夜間例会 18:00~ (ウェスティングナゴヤキャッスル)

○このウィクリーは再生紙を使用しております。